

東日本 **APM** ニュース

ASSOCIATION OF PLASTICS MOLDERS, EAST JAPAN

第476号 2013. 12/ 5

一般社団法人 東日本プラスチック製品工業協会
 東京都中央区築地3-12-5 築地小山ビル TEL 03(3541)4321
 URL:http://www.ejp.or.jp FAX 03(3541)4324
 発行人 高橋 廣

歩み続けて半世紀

おかげさまで50周年

目次	
前期技能検定合格発表(合格者名簿)..... 1	プラスチックのリサイクル(四季)..... 4
連合会、第173回理事会と対抗ゴルフ大会開催... 3	事務局レポート..... 5

おめでとうございます 前期技能検定合格発表
 プラスチック成形技能士が誕生しました

平成25年10月4日前期技能検定試験の合格発表が行われました。東京都ではプラスチック成形職種「射出成形作業」1級24名、2級48名、合計72名の技能士が誕生しました。

今年度東京都の合格率は1級33.8%、2級47.1%、合計では41.6%。これに対して全国ベースは1級24.5%、2級40.8%、合計では35.2%です。比較的好成績です。又、昨年度1級の合格率は22.5%と低調でしたが、今年度は例年並みに改善されました。

工業協会では技能検定に向けて各種実技講習会を開催しています。同講習会は単に試験を突破するだけを目的としていません。あくまでも成形作業の基本を確認して頂く事に重点を置いています。従って平素の作業現場でもきつと役立つかと思えますので積極的に活用願います。

又、来年は3年に1回実施の圧縮成形作業が公示されます。一方近年受検申請者数が少ない検定職種・作業に対しては統廃合の動きが有りますが、射出成形作業は人数制限が必要な程人気がありますが、圧縮成形作業の受検者数は極めて少数です。このままでは今後圧縮成形作業は廃止される可能性が高いと見込まれます。圧縮成形に従事されている皆様は積極的にチャレンジされることを期待しています。

末筆となりましたが、今年度も会場提供を頂いた東京都立中央・城北職業能力開発センター板橋校様を初め、数多くの皆様のご支援・ご協力のもと、特に大きな事故・怪我無く無事終了いたしました。この場をお借りいたしまして、心から御礼申し上げます。

平成25年度 前期技能検定「プラスチック成形職種」東京都 合格者名簿

1級技能士「射出成形作業」(24名)

氏名	勤務先
高橋 史篤	三共ラジエーター株式会社
森 淳也	吉田プラ工業株式会社

申請者総数71名中 合格者24名

氏名	勤務先
加藤 誠	シンエーカー株式会社
坂本 成央	株式会社 荒川樹脂

氏名	勤務先	氏名	勤務先
前原 彰	菱馬テクニカ株式会社	宮永 一宏	株式会社 第一化成製作所
小泉 正和	株式会社 吉野工業所	吉成 真一	天馬株式会社
小島 怜	住友化学株式会社	本間 正弘	株式会社 ケーヒン
米田 聡一郎	村角工業株式会社	宮岡 伸一	株式会社 ヤシマ
江口 大祐	吉田ブラ工業株式会社	林 邦明	株式会社 ヤシマ
大内 泰介	株式会社 信幸産業	坂本 陽一	新洗化成株式会社
寺沼 勝真	森六プレジジョン株式会社	市川 めぐみ	有限会社 ジャストインターナショナル
関根 貴之	森六プレジジョン株式会社	大津 生朗	豊合成樹脂株式会社
中尾 友樹	株式会社 吉野工業所	大川 慶彦	リケンテクノス株式会社
金子 智	山下電気株式会社	村上 喬之	株式会社 ニップラ

2級技能士「射出成形作業」(48名)

申請者総数102名 中合格者48名

氏名	勤務先	氏名	勤務先
佐藤 貴大	シチズン時計株式会社	森内 真利子	株式会社 日本製鋼所
石川 和美	山下電気株式会社	萩原 泰市郎	株式会社 日本製鋼所
神田 薫	山下電気株式会社	中村 祐太	住友化学株式会社
石渡 友貴	朝霞積水工業株式会社	渡邊 貴史	宝栄工業株式会社
名取 侑輔	朝霞積水工業株式会社	和田 雅行	不二プラスチック株式会社
木村 聡宏	サン精密化工研究所株式会社	芳賀 溪佑	光プラスト株式会社
富田 昌章	シチズン時計株式会社	石川 祐太	株式会社 エコー
松尾 将大	吉田テクノワークス株式会社	菊池 誠也	光プラスト株式会社
宮崎 亮	天馬株式会社	川瀬 正登	株式会社 荒川樹脂
飯野 将行	天馬株式会社	井原 公平	日亜化学工業株式会社
藤井 孝昌	エムスケミー・ジャパン株式会社	川村 訓康	日亜化学工業株式会社
野菊家 尚徳	マブチモーター株式会社	鈴木 大将	朝霞積水工業株式会社
吉川 康宏	積水化学工業株式会社	柴 秀和	株式会社 日昌製作所
鐘ヶ江 勇介	積水化学工業株式会社	横田 浩宣	株式会社 日昌製作所
樋田 智樹	朝霞積水工業株式会社	山元 薫	株式会社 日昌製作所
田中正 男	泰興物産株式会社	高橋 康浩	株式会社 日昌製作所
笠原 建生	山口電材株式会社	栗原 和希	ツバキ山久チエイン株式会社
小林 和香子	リケンテクノス株式会社	岩立 直也	天馬株式会社
高橋 英之	株式会社 ダイケン	落合 洋	新洗化成株式会社
塚原 沙亜耶	シチズン時計株式会社	森井 英樹	睦化工株式会社
石田 大樹	高圧化工株式会社	白石 亮人	村角工業株式会社
沼田 浩二	株式会社常磐谷沢製作所	中本 孝徳	村角工業株式会社
橋 直広	株式会社常磐谷沢製作所	関根 義之	リケンテクノス株式会社
野口 将人	山下電気株式会社		

2級合格者の内1名は職能直接申請につき氏名不明

連合会、名古屋にて第173回理事会と 4地区対抗ゴルフ開催

平成25年10月3日(木)全日本プラスチック製品工業連合会の第173回理事会が、名古屋国際ホテルで開催されました。齋藤連合会長以下、4地区協会の会長、役員、事務局合計30名が参加し、創立50周年記念事業等について審議されました。



席上、齋藤連合会長から以下の挨拶がありました。

50周年まで残すところ4ヶ月余り、明日はその記念行事の一環として連合会初めての4地区対抗ゴルフが予定されております。コースの手配を頂いた中部日本の皆様には大変お世話をお掛けしますが宜しく願い申し上げますとともに、心より御礼申し上げます。

さて10月1日に発表された日銀短観では、大企業製造業の景気判断は、プラス12ポイントとなり、これは前回比8ポイントの上昇で、平成20年のリーマンショック以降最も高い水準に回復したとの発表がされました。また設備投資計画におきま

しても大企業を中心に今年度は、前年度を6.6%上回る見通しだそうです。

一方中小企業製造業においては前回比5ポイントの改善はしているものの、依然としてマイナス9ポイントでありました。これらの数字からも

中小製造業では回復感が思ったほど実感できていないことの裏付けではないかと推察しております。

また1日には懸案となっております消費税の8%への引き上げが決まりました。大企業を中心に景気回復が現実として見られ始めてきている中で、これらが今後、日本経済をはじめ我々業界にどのような影響を及ぼしてくるのか? 予測できませんが、現に値引き要請を受けた企業もあるような話も聞いておりますし、経産省からも影響調査の打診が事務局に寄せられております。

ここにきて相次ぎ打ち出されている、原材料の値上げや電力料金、最低賃金の改定など、価格転嫁の困難な環境下で厳しい経営局面にさらされているのが現実ではないでしょうか? 国へは早急且つ大胆な中小企業製造業施策の実現を切望するものであります。

本日の理事会は50周年行事に向けた最後の理事会で、それらに向け、ご審議いただくことが沢山ございます。皆様のご意見を賜りながら50年の節目に恥じない、式典、パーティーとたく考えており宜しくお願い申し上げます。

その後、創立50周年記念事業の件等主要議案について審議され概ね原案通り承認されました。

翌日10月4日(金)は、富士C可児クラブ・志野コースにて50周年記念4地区対抗ゴルフが開催されました。各協会からスコア上位4名の合計で競う対抗戦では、総合力と動員力に勝る中部日本が優勝、2位以下は、東日本、西日本、神奈川の順になりました。



プラスチックのリサイクル（四季）

プラスチックは軽量性、設計の自由性、デザイン性、生産性などの利点を活かして活用され、私達の生活を豊かにしてきた。反面、多量消費は多量廃棄につながり、結果として環境汚染、温室効果ガス（炭酸ガス）の増加など環境負荷を増大させている。過去においては、環境負荷は次式で表された。

$$\text{環境負荷} = (\text{人口} \times \text{豊かさ}) \times \text{技術}$$

しかし、最近においては、次式の考え方に転換している。

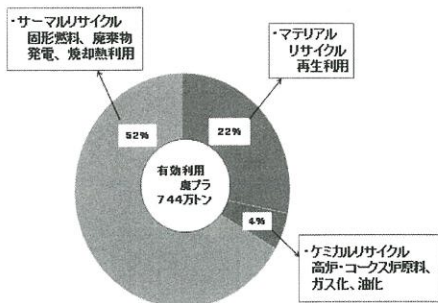
$$\text{環境負荷} = (\text{人口} \times \text{豊かさ}) \div \text{技術}$$

つまり、技術開発は環境負荷を低減する方向に重点が移されている。環境負荷を低減するために、生分解性プラスチックやバイオプラスチックの材料開発が活発化している。一方、廃棄プラスチック（以下廃プラという）の廃棄量を減らすためのリデュースやリユース、廃プラ有効利用のためのリサイクルなどを促進する検討が進められている。

次に、リサイクルにフォーカスして最近の動向について述べる。

プラスチック成形材料の製造から成形、使用、廃棄までに至る産業を動脈産業とすれば、廃プラを回収して有効利用する産業を静脈産業ということができる。動脈産業から排出される廃プラ量より、静脈産業における有効利用量が少なければ、環境負荷の増加につながる。(社)プラスチック循環利用協会のまとめによれば、2011年におけるわが国の廃プラ総排出量は952万トンであり、そのうちの有効利用された廃プラは744万トン、未利用廃プラは207万トンである。従って、総廃プラ量に対する有効利用率は78%である。マテリアルリサイクル、ケミカルリサイクル、サーマルリサイクルなどに有効利用された廃プラのリサイクル方法別の比率を図に示す。同図からサーマルリサイクルが52%と最も比率が高いことがわかる。同リサイクルでは燃焼燃を有効利用するが、温室効果ガス（炭酸ガス）の低減にはつながらないという課題はある。

マテリアルリサイクルは回収した廃プラを再溶解して射出成形、押出成形などによって製品に再



総廃プラ排出量に対する有効利用率(2011年)
出所；(社)プラスチック循環利用協会資料

加工する方法である。代表的な例としてはPETボトルのリサイクルがある。

ケミカルリサイクルとしては原料・モノマー化、高炉原料化、コークス炉化学原料化、ガス化、油化などが含まれる。原料・モノマー化技術では、廃プラPETボトルを化学分解してモノマーを作り、PETを重合する。これを用いて再びPETボトルを成形する例がある。高炉原料化技術は溶鉱炉で鉄鉱石の主成分である酸化鉄の還元剤として廃プラを用いる方法である。コークス炉化学原料化技術はコークス炉で廃プラと石炭を混ぜて蒸し焼きにして、化学原料になる炭化水素油、高炉の還元剤となるコークス、発電用のコークス炉ガスなどに有効利用する方法である。ガス化技術はガス化炉で蒸気、酸素を供給しつつ燃焼させて合成ガスを作り、水素、メタノール、アンモニア、酢酸などの化学工業原料として有効利用する方法である。油化技術は廃プラを分解し石油にまで戻す方法である。

サーマルリサイクルとしては、ごみ焼却熱利用、ごみ焼却発電、セメント原燃料化、固形燃料化(RPF, PDF)などがある。これらうち、ごみ焼却発電は近年重要なエネルギー源として注目されている。

最後に、未利用廃プラの207万トン（総排出量の22%）は単純焼却、埋め立てなどで処理されており、今後いかに有効利用するかが大きな課題である。(案山子)

事務局レポート

■第332回 理事会議事録

1. 日 時 平成25年11月13日(水)
15時00分～16時30分
2. 場 所 東日本プラスチック工業年金基金
3階会議室
東京都台東区柳橋2-21-8
TEL 03-3862-4308
3. 出席者
大野 泰昭 大井 英一 大塚 一郎
佐藤 昭 鈴木 幸雄 辻 隆志
安達 七郎 嶋田 修二 内藤 隆夫
山下慎一郎 平塚 隆文 大川 哲郎
上村 俊彦 長島 勝敏 齋藤 森作
滝口 裕 福田 晴通 肥後 武重
腰越 稔 小松 幹也 小林 輝男
武田 久徳 川崎 国雄 池添 亮
高橋 廣 以上出席25名(理事総数32名)
谷 和雄 野邊弘一郎 以上 監事2名

4. 会長挨拶

本日は お忙しい中を理事会にお集まりいただきまして誠に有難うございます。

11月は霜がしきりに降りることから「霜月」とされ、ほかに露ごもりの葉月、神楽月(かぐらつき)、雪待月(ゆきまちつき)などともいう。歌舞伎の世界では一日(ついたち)を顔見世といい元旦の心でこの日を祝うそうです。

「日立とG Eが目指す変革～サービスが開く新製造業」という題名で新聞に以下の記事が出ていました。

日立は今期、連結営業利益が23年ぶりに過去最高を更新する可能性があるとのこと。4～9月期決算の説明会の席上、中村豊明副社長は「稼ぐ力を示したい」と自信を見せました。「営業利益5千億円という未踏領域に迫る日立が、従来とは全く別物の企業に変わるかもしれないとの予感がする」と、ある証券会社の関係者が話しているそうです。

例えば、鉄道や車両の供給だけでなく「数十年単位でハードウェアの価格と同等以上のサービス収入を得るビジネスモデルを目指す」と日立の幹部は言っております。ハード重視経営の

象徴的存在だった日立がサービスやソフト路線に転換し始めました。日立がライバル視し、やはり変化を感じさせるのは、米製造業の代表格であるゼネラル・エレクトリック(GE)です。同社ジェフリー・イメルト会長兼最高経営責任者(CEO)が強調したのは、「製造業はアメリカル(解析技術を生かす)な存在になるべきだ」との話です。GEはIT(情報技術)を駆使し、航空機エンジンや発電機器などにセンサーやソフトを組み込み、稼働時のデータを収集・分析してサービスに生かす「インダストリアル・インターネット」を進めるといいます。

例えば 航空機エンジンの状況を把握して、燃費良く航空機を飛ばし、故障やトラブルも未然に防ぐ淀みのない運航や発電を可能にすることで顧客から得るサービスの対価は「製造業の本質を変え、新たに数兆ドル規模の市場を創る」とイメルト氏は予測しています。

一方でGEは今後10年で部品の25%を3Dプリンターで作ったものにする計画だそうです。

「素材高をにらんで製造法を抜本的に見直すほか、人件費で立地を選ぶ時代に終止符を打つ」とイメルト氏。世界の工場 中国を意識しての動きで、サービスで利益を拡大し人件費の安い新興国の優位性や素材高を打ち消すような経営が大事だ、と考えているそうです。

GEがカジを切ったのは「より高度な製造業」だそうです。日立が目指す変化やイメルト氏のいう「高度な製造業」が新しい時代を創るのかどうか、世界的にも一つの関心事になるはずだと編集者は結んでいます。

私はこの記事を読んで、ものを作るだけでなくソフトやサービスを組み込むことの大事さを痛感した次第です。

5. 議事録署名人

議長は定款第34条により、谷 和雄 監事を議事録署名人に指名し、了承された。

6. 議 事

議題1. 経過報告

(1) 役員会等の開催

9月11日 第331回理事会・納涼会

東日本プラ基金会館

9月11日 第5回50周年記念事業委員会

東日本プラ基金会館

(2) 部会・委員会の開催

① 技能検定運営委員会

10月7-17日 後期検定申請受付

東日本プラ基金会館

10月18日 第2回委員会・前期検定反省会

板橋校

② 能力開発推進委員会

10月18日 第2回推進委員会 板橋校

10月26, 27日 オーダー講習 (①,②) 板橋校

11月9, 10日 オーダー講習 (③,④) 板橋校

③ 青年経営研究会 (JPO)

9月19日 役員会 東日本協会会議室

10月25, 26日 東西中JPO交流会

㈱アーク・クレスト小松社長講演、大阪

11月12日 役員会 銀座「トチ」

④ APM会

9月17日 記念ゴルフ運営委員会

東日本協会会議室

10月16日 50周年記念ゴルフ→12/10に延期

大栄CC

⑤ 技能士会

10月19日 講演会 (成形機の歴史、

講師：森谷栄之進) 板橋校

(3) 支部会

9月25日 城南支部会 大栄CC

10月22日 埼玉支部会 浦和「満寿家」

(4) 全日本プラ連合会

10月3日 第173回理事会

名古屋国際ホテル

10月4日 4地区対抗ゴルフ

富士カントリー可児倶楽部

11月12日 西日本・前会長故奥野拓司氏社葬

大阪・阿倍野

議題2. 会員の入会・退会承認の件

(1) 退会の部

正会員 1社

①会社名 東興業(株) 城北支部

退会理由 破産

議題3. 創立50周年記念事業実施の件

本理事会の前に開催された第6回周年記念事業委員会の審議内容を踏まえて、専務理事から資料に沿って説明した。

① 記念式典

・出席者数:224名(式典193、講演会204、祝賀会223)

・会場変更:3F「鶴の間」→2F「牡丹の間」

へ〜当初160名見込から増えたため。

・賛助会員(当日出席22名)並びに検定員(当日10名出席)への感謝状贈呈は、時間的に対象者全員は難しく、受賞代表1名のみ授与する事とした。賛助会員の場合は、日精樹脂工業(株)(依田社長)、検定員は須崎一氏を受賞代表にお願いし、その他の賛助会員は、感謝状を郵送する。

② 講演会

配布資料4より説明、謝辞は大井副会長にお願い。講演会終了後、正副会長は、最初に退出し祝賀会場へ直行戴く、立礼のため。講師の接待(4階控室へ案内)は鈴木理事にお願いすることとした。休憩後、祝賀会場へご案内。

③ 祝賀会

入り口手前の「日光の間」を控室とし、奥の「月光の間」を喫煙室としている。

弦楽四重奏、似顔絵、福引賞品コーナーの配置図は資料14のとおり。

立食形式であり、高齢者用の椅子の設置を検討する。

福引賞品は、20名程度を当選者数とする。

司会者と嶋田理事で運営をお願い。

11/19に大野会長、大井委員長と司会者で最終打ち合せを予定。

④ 記念誌

資料18の通り、協賛広告29社より予定以上の協力を戴いた。

⑤ 土産、ご挨拶(クオカード)

参加者への土産は、帝国ホテルチョコレート、50周年記念誌及び会長の挨拶カードにクオカード1000円分を入れ人数分ホテルの手提げ袋に入れ、手配する予定。

⑥ 予算

支出をやや多めにみているため、余剰が少し出る見込み。

【報告事項】

・前期技能検定について

・連合会 今後の行事計画

・正副会長会(25.12.05 八重洲富士屋ホテル)

・創立50周年祝賀会(26.01.28 帝国ホテル)

・協同組合からのお知らせ〜年末タオルの斡旋

・本部10/末残高試算表

・国の施策:設備投資税制改正

以上をもって、第332回理事会における審議を終了し、議長は16時30分、理事会の閉会を宣した。

業界独自の年金制度の継続を目指します

平成26年4月に厚生年金基金制度の抜本的な改正法が、施行される予定ですが、業界の皆様独自の年金制度の継続を図るため、現在、新制度への以降準備を進めております。

今後とも、皆様のご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

東日本プラスチック工業厚生年金基金

理事長 宮越 健

常務理事 栗城 靖

〒111-0052 東京都台東区柳橋2丁目21番地8号
(東日本プラスチック工業厚生年金基金会館)

電話 03(3862)4308(代)

基金ホームページ

<http://www.la.biglobe.ne.jp/eplastic-kikin/>

おかげさまで創立10周年

東日本プラスチック製品工業協同組合

～会員企業のお役に立つ事業を推進してまいりました

これからも下記事業に積極的に取り組んでまいります～

- 各種ユニフォーム・事務服、安全靴、タオル等斡旋
- ETCカード事業
- 団体医療共済保険、PL保険、団体生命保険
- 廃プラ事業
- プラスチック手帳他

上記事業を一般社団法人 東日本プラスチック製品工業協会と連携して実施しています。

ご用命は下記へ。

東日本プラスチック製品工業協同組合 事務局
電話 03-3541-4321 Fax 03-3541-4324

都立中央・城北職業能力開発センター板橋校 プラスチック加工科（6ヶ月コース）



求人のお願いと4月生募集



プラスチック加工科では、射出成形技術について6ヶ月の訓練を行っています。当科は技能検定の射出成形作業2級程度の技術習得を訓練目標とし、金型の分解・組立、工作機械を用いた機械加工による簡単な金型の補修ができればように日々訓練に励んでおります。つきましては当科の就職支援、入校生募集について以下の事業にご協力をお願い申し上げます。

- 平成26年3月修了生への求人情報の提供
- 平成26年4月入校生の募集

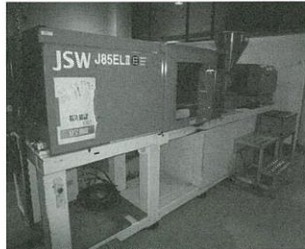
求人、訓練生募集、施設見学についてのお問い合わせは当校までお気軽にご相談ください。

【4月生募集】

- 訓練内容 金型の取り付け・取り外し、成形条件の設定、不良対策、金型のメンテナンス、仕上げ作業等の加工技術、CAD操作について訓練いたします。
- 授業料 無料
- 選考内容 筆記試験（国語・数学）・面接
- 募集期間 平成26年1月6日（月）～2月6日（木）
- 選考日 平成26年2月19日（水）



成形品（マグカップ、六角容器、ヘアブラシ）



成形機（日本製鋼J85EL II、他6台）



射出成形機取り扱い実習の様子

訓練修了後の感想（平成25年4月生 株式会社サトーコーセー 小山田 匡宏さん）

私は、4月から中央・城北職業能力開発センター板橋校プラスチック加工科に入校し、6ヶ月の訓練課程を修了しました。以前勤めていた会社では、金型製造部に所属し金型部品の加工を担当しており、製品成形にはほとんど関わってきませんでした。私自身、将来的には金型の設計をしたいと考えており、会社の上司や同僚に相談したところ、射出成形の知識が必要というアドバイスを受けました。そんな折、板橋校のプラスチック加工科の生徒募集を知り、入校を決意しました。

板橋校での訓練は、専任の指導員2名と非常勤講師1名の計3人で進められます。主に、マグカップや容器などの日用品を成形する金型を使って射出成形機の取り扱いや成形方法を学びます。定期的に行われる確認テストでは、繰り返し反復練習をすることで作業時間の短縮や精度が高まり、実作業での効果を実感することができました。また、通常の射出成形実習以外にも圧縮成形などの授業もあり、貴重な経験をすることができました。訓練期間中は、毎朝9時5分の始業に合わせて、自宅から板橋校まで1時間半かけて通いました。通学に往復3時間かかりましたが、充実した訓練を受講できたおかげで苦も無く通うことができました。

現在、私は以前勤めていた会社へ戻り働いております。従前までの業務のほかに、始業時の成形機立ち上げや金型の交換なども担当できるようになり、業務の幅も広がりやりがいを持って仕事に励むようになりました。また、10月から当社の社員2名が都の※**受託生訓練制度**を利用し、会社に在籍したまま訓練を受講しています。今後、より技能・技術の向上に研鑽し会社にとって必要な存在となれるように、頑張っていきたいと思っています。

※受託生訓練制度とは、地域の中小企業で働く方々の技能水準の向上を図るために、企業に在籍したまま無料で都立の職業能力開発センター・校で公共職業訓練を受講できる東京都の制度です。

お問い合わせは

東京都立中央・城北職業能力開発センター 板橋校

174-0041 東京都板橋区舟渡2-2-1（JR埼京線 浮間舟渡駅 徒歩3～4分）

電話 03-3966-4131 FAX 03-3966-3161

担当指導員 苫米地、町田